

2024年 第30回愛知県支部連合会総会 会議次第

2024. 2. 18 (10:30~)

愛旅連ビル会議室

司会 富樫尚寛副幹事長

1. 開会の挨拶

小林壮行会長

2. 来賓の挨拶

日本将棋連盟東海普及連合会

中山則男事務局長

3. 2023年の活動のまとめ及び2024年の課題

福島隆夫幹事長

4. 2023年度会計報告及び2024年度予算(案)

高津 章会計

5. 役員体制について

6. 活動報告及び質疑・意見

7. 配付資料

- (1) 2023年の活動のまとめ及び2024年の課題
- (2) 2023年度会計報告及び2024年度予算(案)
- (3) 愛知県支部連合会役員体制
- (4) 愛知県支部連合会支部一覧
- (5) 愛知県支部連合会規程
- (6) 将棋関係資料(チラシ)

配付資料（１）

【2023年の活動のまとめ及び2024年の課題】

1 2023年の活動のまとめ

2023年2月12日に、第29回愛知県支部連合会総会を愛旅連ビル3階会議室にて開催いたしました。参加者は支部長、指導員等35名でした。

主な議題は「2022年の活動のまとめ及び2023年の課題」、「2022年度の会計報告及び2023年度予算」、「役員体制について」でした。内容につきまして、それぞれご説明・ご報告を行い、ご承認をいただきました。なお、大村和久八段がご逝去されましたことから、新たに中田章道七段に新たな日本将棋連盟東海普及連合会会長として顧問にご就任いただきました。

ご案内のとおり、新型コロナウイルスについては、2023年5月8日より、感染症法上の位置づけが季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行されました。これにより、法律に基づいた外出自粛の要請などはなくなり、感染対策は個人に委ねられるところとなり、各種行事等も従来どおりに行われるようになってまいりました。

将棋イベント、大会等については、主催者の対応方針が前提となりますが、多くの大会では感染対策に留意した上で従来に近い形式で行われる状況となりました。新型コロナウイルス対策は引き続き留意していくことが望ましいところであり、安心・安全な大会運営に取り組んでいくこととなります。

こうした中、瀬戸市出身の藤井聡太さんが将棋の全タイトルを獲得し、八冠を達成したことは社会現象にもなった歴史的快挙でした。

またこのところ、東海地方のプロ棋士・女流プロが相次いで誕生しており、藤井八冠を始め、益々の活躍を祈念するとともに、更なる広がり期待するところです。（柵木幹太四段（西尾市）、宮嶋健太四段（岐阜市）、今井 絢女流初段（名古屋市）、森本理子女流2級（春日井市）、磯谷祐維女流初段（各務原市））

（1）新しい支部の拡大 40支部を目標

2024年2月1日現在 40支部 約1300名（個人会員含む）

1995年に13支部で活動開始した愛知県支部連合会は、現在40支部、約1300名の会員に発展してきました。

また、1996年から2月の総会、10月の支部長・将棋指導員合同会議、県連役員会毎月1回（1995年2月から2024年2月まで現在349回）、県連会報の発行（1995年3月から2024年2月現在349号）など組織を強化しつつ将棋の普及活動を続けてきました。

（2024年2月1日付けで、浄水将棋同好会支部が加入）

（2）岐阜・三重県支部連合会等との連携強化

平成23年4月に設立された東海普及連合会は、プロとアマチュアの共同普及組織としての役割を發揮して様々な取組を進めています。また岐阜・三重県支部連合会とともに支部会員の拡大に向けて取組みを継続しています。（平成20年12月から2カ月に1回定期的に会議を開催しています。）

東海四県支部・支部会員数

(2023年9月1日現在)

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
支部数	39	9	7	19	609
支部会員数	1216	183	138	539	14198
個人会員数	54	6	13	13	965

※参考：日本将棋連盟の全国支部数・支部会員数の目標数値

支部数＝800支部 支部会員数＝20,000名

東海四県将棋指導員数

(2023年9月1日現在)

	愛知県	岐阜県	三重県	静岡県	全国
棋道正師範	1	—	—	1	5
棋道師範	11	—	—	—	27
棋道指導員	23	7	3	2	104
将棋指導員	139	23	7	12	859
指導員補佐	10	1	-	1	30

※参考：日本将棋連盟の将棋普及指導員についての目標数値

5か年＝毎年資格取得者100名以上 10か年＝将棋普及指導員数2,000名

(3) 将棋普及領域の拡大

児童館、支部教室に加えて学習塾(名進研)、ヤマダ電機、文化センター、幼稚園等で実施。

新型コロナウイルス感染状況下では、中止・延期・規模縮小も相次ぎましたが、ほぼ回復の状況となっています。引き続き普及活動の推進に協力・支援していきます。

(4) 東海研修会

日本将棋連盟では、将棋を通じて健全な少年少女の育成を目指すための機関、また女流棋士養成機関として全国で6か所(関東研修会、関西研修会、東海研修会、九州研修会、北海道研修会、東北研修会)開催しています。

東海研修会については、これまで東海普及連合会が独自の運営で開催してきましたが、2020年4月からは、日本将棋連盟の運営となりました。会場も名古屋・栄の山岳会館から、名古屋・大須の万松寺に移動しました。毎月2回、第2・第4日曜に定例開催となっております。(会場の都合により変更の場合もあります。)

(6) 栄将棋教室への協力ー東海地域の将棋の中核としての存在

平成24年7月から水曜トーナメントを実施 毎回20名以上の参加。

(月)＝月曜子供将棋塾 (火)・(金)＝シニア・初心者対象指導 (木)＝レディースセミナー
(土)＝子ども将棋スクール

★2023 年の活動についての主な報告

	開催日	曜日	行事名	場所
1	1月7日	土	第5回熱田こども将棋大会	熱田神宮文化殿
2	1月28日	土	第2回江南子ども将棋大会	江南市民文化会館
3	2月5日	日	第52回支部名人戦・支部対抗戦	名古屋港湾会館
4	2月12日	日	第29回愛知県支部連合会総会	愛旅連ビル会議室
5	2月12日	日	将棋指導者講習会	愛旅連ビル会議室
6	2月23日	木・祝	第48回公文杯小学生名人戦愛知県大会	名古屋港湾会館
7	3月26日	日	名古屋市児童館講師団会議	栄将棋教室
8	4月1日	土	岡崎将棋まつり 子ども将棋大会	岡崎市民会館
9	4月2日	日	日本将棋連盟将棋指導員資格審査	桜華会館
10	4月30日	日	全国小学生倉敷王将戦愛知県大会	名進研ホール
11	5月7日	日	アマチュア竜王戦愛知県大会	愛旅連ビル会議室
12	5月20日	土	ねんりんピック名古屋市予選	高齢者福社会館
13	5月28日	日	第3回杉本賞ソーネ子ども将棋大会	ソーネおおぞね
14	6月3日	土	文部科学大臣杯第19回小・中学校団体戦愛知県大会	名古屋港湾会館
15	6月18日	土	名城大学杯将棋大会（高校竜王戦愛知県大会）	名城大学ナゴヤドーム前キャンパス
16	6月24日	土	とよた将棋フェスタ2023	豊田市民文化会館
17	7月17日	月・祝	第77回全日本アマチュア将棋名人戦愛知県大会	愛旅連ビル会議室
18	8月5日	土	名古屋城こども王位戦予選	吹上ホール
19	8月6日	日	イオンモール杯こども将棋王中部エリア大会	イオンモール常滑
20	8月11日	金・祝	名進研カップ第7回中部オール学生団体戦	名進研ホール
21	8月18日	金	第20回菊武学園杯愛知県中学生将棋選手権大会	名古屋産業大学
22	8月27日	日	瀬戸将棋まつり こども将棋大会	瀬戸市文化センター
23	9月16日	土	名古屋城こども王位戦決勝大会	名古屋城本丸御殿
24	9月24日	日	第3回大曽根商店街通り将棋大会	大曽根商店街
25	10月1日	日	こども将棋大会（朝日新聞社メディア事業部）	亀岳林万松寺
26	10月9日	月・祝	J:COM 杯子ども将棋大会	名古屋国際会議場
27	10月21日	土	室田伊緒のかすがいふれあい将棋講座・子ども将棋大会	春日井市役所
28	10月29日	日	第77回全日本アマチュア将棋名人戦愛知県大会	愛旅連ビル会議室
29	11月3日	金・祝	テーブルマークこども大会東海大会	ポートメッセなごや
30	11月4・5日	土・日	第4回小牧将棋の集い	ふらっとみなみ
31	11月12日	日	第3回江南子ども将棋大会	江南市民文化会館
32	11月23日	木・祝	春日井市制80周年記念事業将棋フェスティバル	文化フォーラム春日井
33	12月2日	土	第101回中部職域団体対抗将棋大会	名古屋港湾会館

2 2024年度の課題（取組みの目標）

将棋の普及推進を図っていくことについての取組み、方針等については、従前と大きく変わるものではありません。2020年からの新型コロナウイルス感染状況が大きな影響を与えましたが、「5類」に移行したこともあり、ほぼ従前の状況に戻ってきております。もとより、新型コロナウイルス感染が完全に払拭されたわけではありませんので、引き続き留意しつつ、安心・安全な大会・行事運営に取り組んでいくこととなります。

また、近年、電子機器等に関する不正利用という問題が生じてきています。

この問題は、従前、プロ棋士の対局において大きな問題となったところですが、アマチュア大会においても、昨今、トラブル案件が発生しております。

こうした中、全国アマチュア王将位大会においては、（公社）日本将棋連盟より、「電子機器に関する不正防止策のお願い」が示されています。

もとより将棋大会において不正はあってはなりませんが、運営側も電子機器等の不正利用がありうることを念頭におく必要があります。具体的には県代表を決定するような大会においては、対局開始前に、「電子機器に関する不正防止策のお願い」に即したアナウンスを行うなどの対応となります。

また（公社）日本将棋連盟は2024年9月8日に創立100周年を迎え、東・西ともに新会館への移転を予定しているとともに、様々なイベント等の実施を予定しております。県連・幹事支部を対象に最大2名の棋士派遣も予定されています。詳しくは日本将棋連盟創立100周年記念サイトに掲載されています。

支部連合会としての取組みにつきましては、こどもたちへの将棋の普及という点では、県下のすべての市に支部があり、支部と将棋指導員のより細かなネットワークの形成とその中心に県支部連合会が存在する状況を創り出すことを大きな目標としていきたいと考えています。「県内どこに住んでいてもこどもが将棋を学べる環境の整備」を合言葉に普及を進めます。

また、公益社団法人となった日本将棋連盟の普及事業の前進のため、普及計画に基づく取組みや将棋指導員資格取得の際の費用負担軽減を引き続き求めていきます。

平成23年4月に設立された東海普及連合会と連携して活動し、愛知県支部連合会の普及活動を引き続き推進していきたいと考えています。

1. 普及活動の基本

- (1) 東海普及連合会、岐阜県支部連合会、三重県支部連合会とともに新規支部の設置及び支部会員の拡大を図ります。（支部会員拡大推進委員会 毎月第三木曜日午後4時～）
- (2) 岐阜・三重県支部連合会との連携強化を軸に中部各県とも交流を広げます。
- (3) 普及指導員体制の充実と県支部連合会との連携強化を図ります。
令和6年2月18日（日）将棋指導者講習会 令和6年4月7日（日）将棋指導員資格審査
- (4) 児童館、学習塾、コミュニティセンター、カルチャーセンター等における将棋講座などへも講師の派遣について協力していきます。
- (5) 栄将棋教室（こども将棋スクール等）及び東海研修会への協力
中山則男六段の直接指導等の実施を始め、竹内貴浩四段による将棋講座開催、中澤沙耶女流二段によるレディースセミナー、東海団体リーグ戦、水曜トーナメントなど様々な取組みを進めています。

引き続き、栄将棋教室が東海地区の将棋の中核としての役割を担っていけるよう、皆様方のご参加、ご協力をお願いします。

また、東海研修会については、日本将棋連盟が主体となって、毎月2回、第2・第4日曜に定例開催となっています。(会場の都合により日程変更の場合もありますが、大会等については、できる限り日程を重複しないよう配慮することが望まれます。)

2. 2024年の当面の行事・大会

2月18日(日) 午前：愛知県支部連合会総会 午後：指導者講習会

2月23日(木・祝) 小学生将棋名人戦愛知県大会 名古屋港湾会館

2月29日(木) A級順位戦最終局解説会 万松寺

3月20日(水・祝) ちゅうでん こども将棋大会 東桜会館

4月7日(日) 将棋指導員資格審査 桜華会館